

第5章 相 関

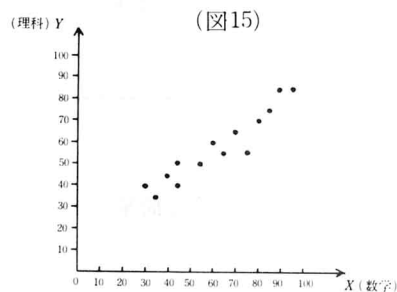
1. 相 関 係 数

次の(表12)は、あるクラスの生徒14名の数学と理科のテストの結果です。

(表12)

生徒番号	数学の得点 X	理科の得点 Y
1	75	55
2	45	40
3	95	85
4	35	35
5	80	70
6	70	65
7	85	75
8	55	50
9	45	50
10	90	85
12	60	60
13	40	45
13	40	45
14	30	40

いま、数学の得点 X を横軸に、理科の得点 Y を縦軸にとって、点 (X, Y) を、座標平面上にとりますと、下の図のようになります。



これを**相関図**といい、この図から、 X と Y との間の関連性を見ることができます。

この場合、数学の得点 X の高いものは、理科の得点 Y も高いが、数学の得点 X の低いものは、理科の得点 Y も低いことがわかります。

右の図は、ある学年の生徒の数学と理科のテストの結果を、相関図に示したものです。 X は数学の得点で、 Y は理科の得点です。そして、 X 、 Y のそれぞれの平均値 \bar{x} 、 \bar{y} を示す直線が書き入れてあります。

